

モデルテンプレート研究プロジェクト - Feature #26

事後条件の基準

2018/02/15 05:51 - CV 高井

ステータス:	Closed	開始日:	2018/02/15
優先度:	Normal	期日:	
担当者:	ESM 大村	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:	未定	作業時間:	0.00時間
説明			
委託チームでの議論。 例えば、ACCで追従して加速する制御に対する事後条件は、「加速した」と書きたくなるが、条件としては書きにくく、かつ、それはユースケース記述のアクティビティ図のアクションとして現れていれば、事後条件として改めて書く必要はないはず。「アクションとして記述したものは、事後条件に書かなくてよい」といったガイドをする？			

履歴

#1 - 2018/02/16 00:04 - ESM 大村

- ステータス を *New* から *In Progress* に変更
- 担当者 を *ESM 大村* にセット
- 進捗率 を *0* から *50* に変更

2018/2/15 議論

事前条件、事後条件はテストケースとして転用したときの入力/出力（期待値）になるはず。
よって、事後条件には最終的な期待値となる状態は記載する必要がある。

逆に、事後条件として記載しているものがアクティビティのアクションとして記載されているのであれば、アクションの方を削除するものとする

#2 - 2018/02/19 00:21 - ESM 岡本

- 対象バージョン を *未定* にセット

#3 - 2018/02/26 10:03 - ESM 大村

- ステータス を *In Progress* から *Closed* に変更
- 進捗率 を *50* から *100* に変更

統一